

聖歌・讃美歌 CD1 収録曲

- 1) 聖歌 476 番 安けさは川のごとく
- 2) 聖歌 726 番 我が友にます
- 3) 聖歌 467 番 御国のこちす
- 4) 聖歌 496 番 主と主のことばに
- 5) 讃美歌 461 番 主我を愛す
- 6) 聖歌 402 番 丘に立てる荒削りの
- 7) 聖歌 465 番 世人のとがのために
- 8) 聖歌 622 番 タベ雲焼くる
- 9) 聖歌 417 番 あなたの罪あやまちは
- 10) 聖歌 459 番 きよいふみは教える
- 11) 聖歌 503 番 主の御手に頼る日は
- 12) 聖歌 396 番 十字架の影に
- 13) 讃美歌 504 番 突れる田の面は
- 14) 聖歌 589 番 恵の高きね
- 15) 聖歌 593 番 ああ恵み

制作 HARUO.HASEGAWA & MEGUMI.KAMESHIRO
制作日 2016年3月 恵日 大阪神愛福音教会

聖歌・讃美歌 CD 1

安けさは川のごとく

① 聖歌 570 雨を降り注ぎ

作詞 Whittle1840-1901
作曲 McGranahan1840-1907

1. 雨を降り注ぎ 恵み給うと
神は愛をもて 誓い給えり
夕立のごと 天つ恵みを
イエスよ 今ここに 注ぎ給えや
2. 雨を降り注ぎ 強き音もて
眠る民の目を 覚まし給えや
夕立のごと 天つ恵みを
イエスよ 今ここに 注ぎ給えや
3. 雨を降り注ぎ 神の言葉の
変わりなきことを 示し給えや
夕立のごと 天つ恵みを
イエスよ 今ここに 注ぎ給えや
4. 雨を降り注ぎ ひとりびとりに
等しき汝が業を 見させ給えや
夕立のごと 天つ恵みを
イエスよ 今ここに 注ぎ給えや

② 聖歌 707 心にもだえあらば

作詞 Rankin1828-1904 作曲 Lorenz1854-1942

1. 心に悶えあらば イエスに話せ イエスに話せ
悲しみ愛いあらば イエスに話せよ
イエスに話せ 良き友なるイエスに話せよ
思案せずに 何事をも イエスに話せよ
2. 涙の急き来るとき イエスに話せイエスに話せ
隠せる罪を持たば イエスに話せよ
イエスに話せ 良き友なるイエスに話せよ
思案せずに 何事をも イエスに話せよ
3. 恐れに困まれなば イエスに話せイエスに話せ
明日の日 気にかからば イエスに話せよ
イエスに話せ 良き友なるイエスに話せよ
思案せずに 何事をも イエスに話せよ
4. 死ぬるに安きなくばイエスに話せイエスに話せ
惑えるその心を イエスに話せよ
イエスに話せ 良き友なるイエスに話せよ
思案せずに 何事をも イエスに話せよ

③ 聖歌 467 御国の心地す

作詞 Butler 1898 作曲 J.M.Black 1856-1938

- 1 悲しみ尽きざる浮世にありても
日々主と歩めば御国の心地す
ハレルヤ！ 罪咎消されしわが身は
いづくにありても 御国の心地す
- 2 彼方の御国は御顔の微笑み
拝する心の中にも建てらる
ハレルヤ！ 罪咎消されしわが身は
いづくにありても 御国の心地す
- 3 山にも谷にも小屋にも宮にも
日々主と住まえば御国の心地す
ハレルヤ！ 罪咎消されしわが身は
いづくにありても 御国の心地す

④ 聖歌 496 主と主の言葉に

作詞 Stead 1850-1917 作曲 Kirkpatrick 1838-1921

- 1 主と主の言葉に 頼るは楽し
主はわが願いを 聞きいれたもう
ひたすらただ主に 頼るわが身を
主よ 主よ なおなお 恵ませたまえ
- 2 きよくなしたもう 血潮とうとし
いま信じくぐらば きよめらるべし
ひたすらただ主に 頼るわが身を
主よ 主よ なおなお 恵ませたまえ
- 3 地につく宝を すつるはやすし
いのちのこみちを たどる身なれば
ひたすらただ主に 頼るわが身を
主よ 主よ なおなお 恵ませたまえ
- 4 ただ主にたよりて 暮らすは楽し
かなたのくにまで 導きたまわん
ひたすらただ主に 頼るわが身を
主よ 主よ なおなお 恵ませたまえ

5 讚美歌 461 主われを愛す

1 作詞 Warner 1827-1915 作曲 Bradbury 1816-1868

主われを愛す 主は強ければ
われ弱くとも 恐れはあらじ
わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われを愛す

2

わが罪のため 栄えを捨てて
天より下り 十字架につけり
わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われを愛す

3

御国の門を 開きてわれを
招き給えり勇みて昇らん
わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われを愛す

4

わが君イエスよ われをきよめて
良き働きを なさしめ給え
わが主イエス わが主イエス
わが主イエス われを愛す

6 聖歌 456 栄えの王にます主の

1. 作詞 作曲 R.Kelso.Carter1849-1919

栄えの王にます主の
御言葉に 堅く立ちて
「神には栄えあれ」と 高く歌い叫ばん
立て 立て 永遠に変わらぬ御言葉を
信じ 立て 神の御言葉に立て

2.

世は変わるとも変わらぬ
御言葉に 堅く立ちて
惑い恐れに 心は乱されじ
立て 立て 永遠に変わらぬ御言葉を
信じ 立て 神の御言葉に立て

3.

全く罪をきよめんと
御言葉に 堅く立ちて
君の血潮を受けしに 自由の身となれり
立て 立て 永遠に変わらぬ御言葉を
信じ 立て 神の御言葉に立て

4.

愛もて主に結びつき
御言葉に 堅く立ちて
悪魔に向かえば 常に 勝ち得て余りあり
立て 立て 永遠に変わらぬ御言葉を
信じ 立て 神の御言葉に立て

15 聖歌 593 罪に満てる世界(ああ恵み)

1 作詞 Johnston 1849-1919 作曲 Towner 1850-1919

罪に満てる世界 そこに住む世人に
「いのち得よ」と
イエスは 血潮 流しませり
ああ恵み！ 計り知れぬ恵み
ああ恵み！ われにさえ及べり

2

罪は海の如く わが心 覆えど
神はさらに強き 恵みもて救えり
ああ恵み！ 計り知れぬ恵み
ああ恵み！ われにさえ及べり

3

「誰ぞわれの罪を ことごとく洗うは」
「見よ 血潮は汝を 雪よりも白くせん」
ああ恵み！ 計り知れぬ恵み
ああ恵み！ われにさえ及べり

4

妙に奇しき愛を限りなき恵みを
今ぞ 誰も受けよ ためらわず そのまま
ああ恵み！ 計り知れぬ恵み
ああ恵み！ われにさえ及べり

13 讚美歌 504 実れる田の面

作詞 Thompson 1885 作曲 Clemm 1885

- 1 実れる田の面は見わたす限り
穂波のたちつつ日影ににおう
垂穂は色づき 敏鎌を待てり
いざいざ刈らずや時すぎぬまに
- 2 東雲と共にとく起出でて
暮果つるまでも刈らしめ給え
垂穂は色づき 敏鎌を待てり
いざいざ刈らずや時すぎぬまに
- 3 かりいれ豊かに 刈り手は乏し
いそむ僕を主よ 増し給え
垂穂は色づき 敏鎌を待てり
いざいざ刈らずや時すぎぬまに
- 4 刈り入れ終えなば あまつ御倉に
おさめて祝いの筵にはべらん
垂穂は色づき 敏鎌を待てり
いざいざ刈らずや時すぎぬまに

14 聖歌 589 恵みの高き嶺

作詞 Oatan.Jr 1856-1922 作曲 Gabriel 1856-1932

- 1 恵みの高き嶺 日々わが目当てに
祈りつ 歌いつ われは登り行かん
光と聖きと 平和に満ちたる
恵みの高き嶺 われに踏ましめよ
- 2 恐れのある地に などかは留まらん
疑惑の雲をば 早く下に踏まん
光と聖きと 平和に満ちたる
恵みの高き嶺 われに踏ましめよ
- 3 狭霧の彼方に 天つ日 輝く
浮世を後にし なおも登り行かん
光と聖きと 平和に満ちたる
恵みの高き嶺 われに踏ましめよ
- 4 陰しき坂をも 直ぐなる岩をも
御助けある身は ついに登りきらん
光と聖きと 平和に満ちたる
恵みの高き嶺 われに踏ましめよ

7 聖歌 465 世人の咎のために

作詞 作曲 P.P.Bil.Horn 1865-1936

- 1 世人の咎のために
死に給いし主イエスを
仰ぎし時この身は 救われたり
賛美せよ 賛美せよ われ救われたり
賛美せよ 賛美せよ われ救われたり
- 2 われは長き年月 なし続けし全ての
悪しき罪の行ない 改めたり
賛美せよ 賛美せよ われ救われたり
賛美せよ 賛美せよ われ救われたり
- 3 今はイエスを君とし
仕うる身にしあれば
罪はよし誘うとも 揺るぎはせじ
賛美せよ 賛美せよ われ救われたり
賛美せよ 賛美せよ われ救われたり

8 聖歌 622 タベ雲焼くる

作詞 Curtis 1915 作曲 Liliuokalani 1838-1917

- 1 タベ雲焼くる 空を見れば
主の来りたもう日の慰ばる
ああ神の前に われ勤しまん
わざやむる時の間近き今
- 2 灯火かかげよ 主の乙女ら
「花婿ぞ」という声聞きなば
ああ神の前に われ勤しまん
わざやむる時の間近き今
- 3 その日をば待てる我らなれば
悩みも涙もなど避くべき
ああ神の前に われ勤しまん
わざやむる時の間近き今
- 4 嘆きも涙も天にはなし
み使いの歌う声 聞くのみ
ああ神の前に われ勤しまん
わざやむる時の間近き今

9 聖歌 417 あなたの罪あやまちは
作詞 作曲 Elish.A.Hoffman 1839-1929

- 1 あなたの罪過ちは 始末されてあるか
神なるキリスト・イエスを
信じ救われたか
罪を悔いて 誰もすがれイエスに
イエスは十字架の血潮で
罪をきよめ給う
- 2 あなたは毎日イエスの 側を歩いてるか
イエスの十字架をば
いつも見て暮らしておくか
罪を悔いて 誰もすがれイエスに
イエスは十字架の血潮で
罪をきよめ給う
- 3 花婿なるキリストを 迎えに出られるか
罪のしみのない服を 毎日着ておるか
罪を悔いて 誰もすがれイエスに
イエスは十字架の血潮で
罪をきよめ給う
- 4 少しでも罪のしみが
付いておったならば
イエスの血潮で白くし 主に喜ばれよう
罪を悔いて 誰もすがれイエスに
イエスは十字架の血潮で
罪をきよめ給う

10 聖歌 459 きよいふみは教える
作詞 作曲 P.P.Bliss 1838-1876

- 1 聖いふみは教える 神が人となられて
人のために救いの 道を成就したこと
わたしをも愛して 死なれた御方は
神の子のイエスさま ひとりだけだ
- 2 そんな愛を忘れて 道に逸れたわたしを
咎めだてもしないで
迎え入れてくださる
わたしをも愛して 死なれた御方は
神の子のイエスさま ひとりだけだ
- 3 神の前に行く時 歌う一つ覚えの歌は
イエスがわたしを 愛し給うそのこと
わたしをも愛して 死なれた御方は
神の子のイエスさま ひとりだけだ

11 聖歌 503 主の御手に頼る日は
作詞 Hoffman 1839-1929 作曲 Showalte 1858-1924
作曲 Converse 1832-1918

- 1 主の御手に頼る日は いかにも喜ばしき
主の御手に頼る日は 世にも幸いなり
頼れ 頼れ 永遠の御手に
頼れ 頼れ さらば恐れあらじ
- 2 主の御手に頼りつつ 進む道は楽し
主の御手に頼りつつ 歩まば光あらん
頼れ 頼れ 永遠の御手に
頼れ 頼れ さらば恐れあらじ
- 3 主の御手に頼る時 死を恐るべきかは
主の御手に頼る時 平和 心にあり
頼れ 頼れ 永遠の御手に
頼れ 頼れ さらば恐れあらじ

12 聖歌 396 十字架のかけに
作詞 Crosby 1820-1915 作曲 Doane 1832-1915

- 1 十字架のかけに 泉わきて
いかなる罪も きよめつくす
おらせたまえ この身を主よ
十字架のかけに とこしえまで
- 2 十字架のかけに ゆきしときに
御神の愛を さとりえたり
おらせたまえ この身を主よ
十字架のかけに とこしえまで
- 3 十字架のかけを 求めつづけん
けわしき坂を のぼるときも
おらせたまえ この身を主よ
十字架のかけに とこしえまで
- 4 十字架のかけを いかではなれん
御国の門に いる日までは
おらせたまえ この身を主よ